

福岡大学附属大濠中学校入試 算数

2024年 1月13日実施

算 数

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | |
| ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑳ |
| ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ |
| ㉖ | ㉗ | ㉘ | ㉙ | ㉚ |



【算数予想配点（150点満点）】 各5点×30問

【講評】

初見で圧倒される問題が多く出題された”昨年”と比べると、今年は、一部を除いて取り組みやすかった。

しかし、全問完答することは難しく、解ける問題でいかにミスなく正解することができるかが重要。

大問数は6題、小問数は30問で、60分の試験時間。

大問2は4つの容器を用いた食塩水の移し替えの問題で、問題文を図にまとめる力が問われる。

大問3は奇数・偶数の規則に関する問題。この大問に時間をかけすぎないこと。大問5は立体図形。

昨年大濠中で初めて立体を切断する問題が出題され、「切り口が直線に見える方向から見る」ことで解答できた。

今年度も切断が出題され、しかも同様の解法で解く問題であった。

出題単元は、和と差、割合、平面、立体、数の性質、規則性、場合の数と中学受験の重要単元から出題された。

日頃から取り組んでいる「各単元の知識量」、「表・図にまとめる力」で差がつくと思われる。

